

私が、湘現会に入会したのは、12年前の平成18年11月でした。鎌倉教養センターでの写真の会であった水谷耕一郎さんの紹介でした。湘現フォトクラブという写真愛好家のサロンがあると連れていかれたのが、由比ガ浜の「和らく」という喫茶店でした。曾根一郎さん野村史朗さんと出会い3人から、中央図書館で、「写真」の記録性を活用し、「地域社会」に「文化的貢献」をしようとそれぞれの頭文字を取った「CPCの会」という会が有るので一緒にやらないかと入ることを勧められ、共に始めたのが湘現会活動の始まりでした。

植月浩視・都築源二・山本光男さんとも一緒になり沢山の事を学びました。鎌倉中央図書館「近代史資料収集室」の平田恵美さんの指導と協力を基に、既に作られていた「鎌倉の今昔」(写真に見る史跡碑とその周辺)(鎌倉・太平洋戦争の傷跡)に続き「鎌倉・谷戸の記録 上・下」二巻の制作から携わりました。鎌倉の地勢・地形と言えば谷戸、鎌倉時代以降、谷戸の自然を透かしながら寺院・武家屋敷が造成されてきたが、時の流れとともに、大きく変わっていく「谷戸」、大変な作業であったが、57ヶ所の谷戸の記録を残すことが出来ました。

湘現会にはたくさんの有能な方々が居て、素晴らしい人材の宝庫であると思っている。湘現会で多くの人材の方々との交流を通じて、たくさんのことを学び生きがいのある日々を送っていることに、感謝の思いで一杯である。